



しばた議会だより



22年続くカルタとり

船迫地区子ども会育成会

CONTENTS

12月定例会	●行財政改革特別委員会最終報告	6
	●ここがズバリ聞きたい(一般質問)	8
常任委員会視察報告		16
あなたの一言		20

危険

の給付費が増加

12月補正予算
5,790万円を追加

第4回定例会は12月12日開会し、17日まで6日間の会期で開かれました。
一般会計、各種特別会計、水道事業会計の補正予算、条例の一部改正の審議をしました。

また、教育委員会委員の選任と人権擁護委員の推薦に同意し、提案された議案はすべて原案のとおり可決しました。最終日には行財政改革特別委員会に付託されていた調査結果の最終報告が行われました。

人勤による人件費削減

一般会計

人事院勧告に伴う給与等改定による人件費と事業の補正をしました。主な歳入としては国・県支出金、使用料、諸収入等で、不足額は財政調整基金の取り崩しによるものです。
歳出の増額補正の主なものは民生費の国保・老人保健特別会計への拠出金、衛生費の健康診査・各種検診の委託料等です。これによる補正額は5千790万円となり、補正後の一般会計総額は11億2千510万1千円となりました。

保険給付費が増加

国民健康保険事業特別会計

歳入は国庫補助金の変更決定によるもの、一般会計繰入金等で1億2千478万6千円の増額補正となります。歳出の主なものは、医療費の伸びが見込まれることから保険給費で増額補正となります。補正後の予算額は24億6千563万4千円となりました。



国民健康保険 介護保険



老人医療受給者は 75歳以上が対象

老人保健特別会計

歳入は支払基金交付金、国・県負担金、一般会計繰入金等で、負担割合から6億494万1千円の増額補正をし、補正後の予算額は29億9千291万2千円

となりました。歳出については老人医療費の推移と医療受給者の動向を踏まえて同額の補正を計上しています。

工事請負費の増額補正

公共下水道事業特別会計

歳入については一般会計繰入金161万円の増額補正です。歳出は給与改定

に伴う人件費と公共汚水枘設置工事と同額の補正をしました。

介護給付費が増加

介護保険特別会計

歳入については介護保険料、介護給付費県負担金等で合計725万4千円の増額補正をしました。

歳出については給付適正化システム用の備品購入費、保険給付費の支援サービス等諸費です。

山田沢管理委託の契約を承認

水道事業会計

歳入の補正はなく、給与改定に伴う人件費の補正で268万1千円の減額補正です。

田沢浄水場運転管理業務の委託について、契約行為を年度内に執行する必要があり、債務負担行為の設定をしました。

人事案件

教育委員会委員の選任に同意(新任)



鈴木清子さん(船岡土手内2丁目)
次代を担う子どもたちの教育のために尽力いたします。

人権擁護委員の推薦に同意(再任)

吉田忠徳さん(船岡字新生町)

ご活躍を期待いたします。

議決された決議

「宮城県保健医療福祉中核施設の整備計画中止の撤回を求める決議」

臨時会

冷夏災害者を救済 第5回 10月31日

● 農作物災害被害者の税軽減(条例制定)

今年の夏の異常気象災害による農作物の被害者に対して、平成15年度の町民税、国民健康保険税の減免措置により税負担の救済を行うための条例を制定です。

町民税、国民健康保険税の減免額は、それぞれ合計所得金額に応じて減免の割合を定めております。

● いもち病防除の補助(補正予算)

今回の一般会計補正予算は、448万7千円の増額です。その内訳は、今年の異常低温、日照不足により農作物に甚大な被害を受けたことから、水稻いもち病防除対策事業補助金、次期作付奨励事業補助金と農業災害対策資金利子保給補助金です。

職員等給料引き下げ 第6回 11月28日

● 職員等の給与の減額(条例改正)

平成15年8月の人事院による2年連続のマイナス勧告を受けて、国家公務員の給与改正に伴い、柴田町職員・企業職員の給与、町長・助役・収入役・教育長の月額給料及び期末手当について、人事院勧告に基づく内容により条例改正を行うもの

です。

改正の内容は給料、配偶者の扶養手当の引き下げ、住居手当の一部廃止、通勤手当支給の見直しなど、12月期末手当の0.25月分の引き下げなどです。

議員報酬を減額(条例改正)

柴田町特別職報酬等審議会に諮問された議長・副議長・議員の報酬に対する意見や、一般職員等の人事院勧告に基づく給与等の減額などを議会と

柴田町特別職報酬等審議会に諮問された議長・副議長・議員の報酬に対する意見や、一般職員等の人事院勧告に基づく給与等の減額などを議会と

しても重く受け止め、現下の厳しい社会情勢等を考慮に入れ、議会議員の報酬等を減額するものです。

職員の給与に関する質疑

● 国家公務員と町職員の給料の較差是正を

質疑 今回の給料の改正は、人事院勧告による官民給与の差のマイナスイメージを是正するためと言われております。しかし、一例を上げれば41歳の国家公務員の給料は37万7千535円ですが、同年代の柴田町行政職の給料は33万4千4円となり、柴田町の職員は4万3千531円低いこととなります。国家公務員と柴田町職員の給与の基準額の違いについて、町長はどのように考えているか。

答弁 本町においても、公務員給与の較差を縮めようとは考えております。



役場の執務状況





町民にとって

議会

ってな〜に

議員

ってな〜に

議会って?

議会は、選挙で選ばれた議員をもって構成される町の意思決定機関であり、広く行財政全般にわたる権限を持つからであります。

このことから明らかなように、町長は議会の同意を得なければ町政は行うことはできないとされています。また、もうひとつの使

議員って?

議員は、住民から選ばれます。そして、住民の代表者として議会を構成する一員となります。

ですから議員の表決において投じる一票は、住民の立場に立つての真剣な一票でなければなりません。

また、議員は住民全体の代表者であり、奉仕者であり、一部の奉仕者ではありません。

命は、町長や執行部がすべて適法・適正に、しかも公平・効率的に、そして民主的に行政を実施しているかどうかを批判し監視することです。

しかし、この批判と監視は、非難でも批評・論評でもあつてはいけなさとされています。これらは、議会の重要性を示すものであり、議

しかし、これが難しい。ある有名な学者がこう

言っています。「ある特定の地域や団体にとって良くないからといって町全体を無視してはいけません。町にとって良くないからといって特定の地域や団体を無視してはいけません。これをやるのが議員だ。」

もう一つ大切なことは、議員はただ単に住民の声

会がいかに住民の立場に立つて判断しなければならぬかを教えています。

町長と議会との関係では、共に住民に直接選ばれたことを考え、互いに独立し、その権限を侵さず、対等の立場と地位にあることを理解しなければなりません。

を代表・代弁するだけではなく、住民全体の発展と幸せを目指して、時には住民に訴え、時には住民を指導しなければなりません。

そして、議会は「最終決定」と「批判・監視」という二つの使命を果たすよう、議会の一員として懸命に努力することが議員の仕事です。

新有権者に期待

(成人式二十歳の一番太鼓)



奥州柴田一番太鼓

実行待ったなし

平成14年12月定例会において議員提案による7名の行財政改革特別委員会を設け、まず自らの改革をと、昨年6月議会では出席費用弁償の全廃ほか2件の減額を決め、9月議会では議員報酬の削減を行いました。

本委員会は40回開催し、各課ごとに慎重に調査・審議の上、最終報告として、具体的な80項目を提言しました。

はじめに

この委員会の目的は、旧態依然の行政システムと財政悪化の指摘と、より一層の行財政改革の推進により、さらなる住民生活の向上を図ることにあります。行財政改革は、町民、議会、町行政が一丸となって取り組まなければなりません。

現在、行政の個別法は基本的に縦思考であり、住民の意向に大きく水を差していることは否めません。近年、縦思考の個別法を乗り越える「構造改革特区」という特別法が出てきたことも述べておきます。

本委員会は「町行財政事務事業の改革に関すること」について調査・審査した結果を報告します。なお、町長はこの提言を真摯に受け止めて、町政遂行に当られるよう要望します。

町民に対する行政の透明性、接遇の誠意、事務処理の効率・簡潔性、財政健全化の明確性等、これらの総合されたものが満足度になります。

現在、行政の個別法は基本的に縦思考であり、住民の意向に大きく水を差していることは否めません。近年、縦思考の個別法を乗り越える「構造改革特区」という特別法が出てきたことも述べておきます。

行財政改革の視点

● 住民の満足度は、行政サービスの評価は、

町民に対する行政の透明性、接遇の誠意、事務処理の効率・簡潔性、財政健全化の明確性等、これらの総合されたものが満足度になります。



しばたの郷土館駐車場

町全体の行財政改革

本委員会では縦割り行政の壁を乗り越える議論を時間をかけ展開してきました。全庁を横断した各課の調整役、企画調整課の今後の詰めと、それらを理解しての町長の判断で、柴田町の新たな再生を図るものと期待します。

1 組織機構の改革

● 課の減少を

現在の本町の歳入状況や今後の経済動向からみて、5、6年前のような各課事業の実施は今後あり得ないと考えます。事務事業の見直しによる職員の削減、事業規模による職員の異動は当然ある

行財政改革の提言

ものと考えます。

また、現在国県でも縦割りの二重構造を廃止し、一元化の方向です。今後本町でもムリ・ムラ・ムダを無くせば、かなりの行政支出の抑制につながり、充実した住民サービスができると考えます。

同類の仕事、重複している事業、用途別の目的などを総括して機構を考えると、次のように課の統合をすべきものとの結論に達しました。

- 総務課と企画調整課
- 町民課と生活環境課
- 健康推進課と福祉課
- 農政課と商工観光課

- 建設課、都市計画課と下水道課

2 人事の改革

● 職員の減少を

課の減少は役職者の枠の減少です。今後、ぬるま湯的な人事は絶対により得ないことは当然です。能力と努力と町民サービスにすぐれた職員が先導する職

場でなければなりません。

定員管理では、職員を減らした分を嘱託・臨時職員で補っていますが、本町に必要なのか一つの精査と、正職員だけで仕事を行うことを考える必要があります。

平成14年度の人件費は、嘱託職員が約4千万円、臨時職員が約1億5千万円にのぼっています。今後は数値目標をもって臨時職員等の削減に努めるべきであり、その対策には各課より職員を繰り出す相互支援体制が必要であると考えます。



農村環境改善センター

3 財政の改革

● 借金総額402億円

一般会計の借金は平成14年度末の元利合計額で約208億円、特別会計も含めると柴田町の総借金額は約402億円に達しました。何故これほどの借金が増えたのか、今後どのように返済するのか、透明性のある計画の説明が必要で

さらに、町4役、議会、職員が、身を削って生み出した財源の用途を明らかにし、目的を持たせた歳出に充てるべきです。そのことが町民の財政に対する注目と注意を引きつけることとなります。

財政再建の一助として、各課での購入や契約をできるだけ一つにし、査定、発注、納入、検査を一括で行うとした事務処理の簡素化も含めて財政の改革を実施すべきです。また、本町は維持費のかかる施設が多くあるので、その改善が急がれます。さらに、財産の処分に



委員会のメンバー

おわりに

定例会閉会に伴う町長あいさつの中で、議会からの提言を真摯に受け止めるとともに、町自らが行政改革を進める決意の表明がありました。

は大英断を求めるとともに、一般会計から他会計への繰出金を押え、切る覚悟が必要です。

一般質問

ズバリ

あなたにかわって

ここが聞きたい

Q & A

一般質問は、12月15日・16日の2日間行われ、25項目について12人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。

編集風景 アラカルト



ウ〜ム、文字が多すぎる。どこを削ろうか。



編集で最初の作業は企画会議です。ここでページ数、何を掲載するのか、だれが何を担当するのかを決めます。
次に3日間で編集し、2回の校正を経て発行します。
町民の皆様には、これからもご愛読よろしくお願ひします。
(舟山邦夫委員長)

8名で編集 議会報



どれが良いか、記事の選択に四苦八苦。



この写真はこのアングルで。



これで出来あがり、安心したよ。

Q

合併処理浄化槽への 転換を

A

住宅密集地では
公共下水道を優先する



半澤勝好 議員

問

犯罪の検挙率が下が
って治安の悪化が心配さ
れています。

犯罪の増加は教育など
多方面に影響します。安
全があつてこそ自由が確
保されると考えます。



我妻弘國 議員



工事中の合併処理浄化槽

問

広域公共下水道整備
に全国で毎年、3〜4兆
円と巨額の予算が投入さ
れています。柴田町は「合
併処理浄化槽」に切り替
える考えがないか町長の
所見を問う。

合併処理浄化槽は設置
費用が安く工事も簡単。
しかも浄化能力も公共下
水道に勝るとも劣らない
ので各地方自治体でも見
直されていると公明新聞
で報道されている。
柴田町でも毎年多額の
費用を投入した割に工事

は進まない。合併処理浄
化槽を導入すれば今まで
の予算で何倍もの仕事が
できるし、費用も大幅に
節減できるので、ぜひ町
長は見直すべきだと思っ
ております。

を交付して設置していま
す。平成14年度の合併処
理浄化槽設置基数は96基
で、補助金を交付した基
数は35基でした。合併処
理浄化槽による処理は起
伏のある地域では安い費
用で工事も簡単なので、
住宅の点在する地域の整
備になりましたらその方
法で検討したいと思いま
す。

答 滝口町長 柴田町の
公共下水道の普及率は県
内で14番目、仙南では4
番目の普及率です。柴田
町の方針は公共下水道は
住宅密集地で行い、合併
処理浄化槽は下水道認可
区域以外の区域で補助金

滝口町長 (3) 防犯ブ
ザーを全員に配布するの
は財政的に難しい。

滝口町長 (3) 防犯ブ
ザーを全員に配布するの
は財政的に難しい。

(4) 新年度にジャンパー
かベストを用意します。

Q

安全な町づくり推進を

A

住民の安全パトロールに
ジャンパーを用意

- そこで犯罪を未然に防
ぐ対策について質問しま
す。
- (1) 町内の防犯灯が暗す
ぎると思うが。
 - (2) 町内の各学校では保
護者と一緒に安全マップ
を作成しているのか。
 - (3) 児童、生徒に防犯ブ
ザーを貸与できないか。
 - (4) PTAや地区住民の
方たちが安全パトロール
する時のジャンパー、ベ
ストを作つてはどうか。

答 滝口町長 平成15年
度の犯罪防止施策の地区
重点地域に指定され、前
年同期と比べて犯罪の発
生件数は24割の減少を見
たが、環境浄化活動には
住民の互いに助け合う地
域コミュニティが大切
と考えます。

(1) 防犯灯の増設は新年
度も続けていきたい。
太田教育長 (2) 現在は
各学校の責任で作成して
いるが、今後教育委員会
でも関わっていきたい。

答 滝口町長 (3) 防犯ブ
ザーを全員に配布するの
は財政的に難しい。



登校中の槻木小児童



舟山 彰 議員

問 (1) 3町合併協議が進められている。町民の関心は自分に関係する事業が16年度予算で実施されるのか、新市の建設計画に引き継がれるかである。新栄通線等各種事業の今後のめどを詳しく町民に説明すべきであると思うがいかがか。

(2) 町民バスを走らせると選挙公約に挙げたがまだ実行していない。16年度予算で実現するのか。図書館と同じく新市に引き継ぐのか。
(3) リハビリパークさくらから旧4号線までの大沼通線はほとんど横断歩道がない。横断歩道の設置には時間がかかるので、今後の重点項目とすべきと思うがいかがか。

Q 合併までに身近な要求の実現を

A 16年度はできる事から実施したい

答 滝口町長 (1) 平成16年度は限られた予算の中でできる事から実施したい。新市に引き継ぐ事業については調整中です。新栄通線は16年度に用地買収を完了の予定で、買収地の草刈りは計画的に実施します。

(2) 町民バスの運行については選挙公約を果たすべく資料を収集中です。町民バスには色々課題があり、町の財政事情からも16年度実施は無理と考

(3) 大沼通線については現地調査や住民からの情報収集に努め、警察を通じて県公安委員会に要望していきます。



工事中の新栄通線



太田研光 議員

Q 水田農業ビジョン作成は

A 農家の意見をまとめ作成



槻木地区ほ場整備

問 国の米政策は、減反面積の配分から、米の需要に応じた生産数量の割当と米作りを行う担い手育成の方向に政策が変更されました。この制度では需要に見合った生産量と、その生産に必要な面積の配分を「地域水田農業ビジョン」として、まとめる役割は町が担うことになりました。

しかし、売れる米の生産数量の配分にしろ、担い手農家の農地集積にし

ても農家の人たちの新制度への認識と協力なしには、町の農業ビジョン作成は困難と思います。そこで、本町の「地域水田農業ビジョン」作成の現状はどのような状態なのか伺いたします。

答 滝口町長 地域水田農業ビジョンについては、10月27日柴田町農業ビジョン検討委員会を設置し、ビジョン作成に取りかかっております。また、11月4日から5日間にわ

たりこれからの米政策について集落単位で座談会を行いました。座談会では、来年度からの米政策へご理解を頂くと共に、ご意見も聴取しました。

農業ビジョンは、3月までには作成したいと思っています。農家にとっては一層の厳しい経営が強いられることから、今後、柴田町農業指針となる地域農業ビジョンについて真剣に取り組みたいと思っています。

Q 異常気象による 被災農家支援を



百々喜明 議員

A 水稲・園芸農家に 助成



菊出荷のための選花作業

問 今年は異常気象により平成5年以來の10年ぶりの冷害に見舞われ、県内はもちろん、本町の農業、農家にとつては水稲^{かき}、花卉、野菜等あらゆる農作物に生育不良、品質低下を招き、その被害は極めて甚大です。そこで伺いたいします。

(1) 稲作の再生産のため、種もみの確保と、病害虫防除のため農薬等に対する助成の考えは。

(2) 3年に一度の不作、10年に一度の凶作への園

芸農家に対する助成は。

(3) 農業生産組織、請負農家に対する助成等の考えはないのでしょうか。

(4) 生産意欲を失った農家、また、失しかねない生産者への対応は。

答 滝口町長 (1) 水稲

いもち病対策の一部補助として370万円、次期作付対策として米、大豆等の種子、種もみ補助として840万円を計上しています。

(2) 園芸農家に土壌消毒剤を対象に一部助成を計上してまいります。

(3) 農作業貸金を本年度限り、一部見直していく事となり、農家の方々へご理解をいただいたところ。農協の資金の貸付期の延長、金融支援等の要望書をJAみやぎ仙南に提出しました。

(4) 農業経営安定対策、農業再生産確保対策、農作物品質確保対策の3点を基本に実施し、農業者、町、JAで対応していきたいと考えています。



杉本五郎 議員

Q 新市への引き継ぎ 生活関連事業を最優先に

A 剣水・剣崎地区の道路 通常の経費で整備

問 とかく政治家は一点豪華主義で、何か一つ目立つ物を造り人気取り政策を優先させがちだが、これは政治の私物化で、住民の幸せにはならない。大事なものは、これまで

多くの議員が町民要望を受け、一般質問等で取り上げてきた集落と集落、あるいは集落と主要公共施設を結ぶ①槻木北部地区や、②民間開発と土地区画整理事業地区が隣接

して格差が目立つ剣水・剣崎地区、③東船岡小などへ通じる道路の改修・整備。さらには降雨の度に冠水する常習地帯の解消など、日常生活の安心・安全を保障する政策をこ

らも時代の要請や住民ニーズ、将来の地域発展を見据え、合併した場合に活用できる合併特例債を活用したインフラ整備、図書館建設、子育て支援施設、高齢者支援センターなど、一点豪華主義

も努めます。

冠水地の解消に



道路幅の違う剣水・剣崎地区

そ、最優先に新市に引き継ぐべきと思うがどうか。

答 滝口町長 生活道路などの改善を求める要望が強いことは認識しており、それだけに生活関連の政策を最優先させながらも時代の要請や住民

と言われがちな物でも、議会の意見を聞きながら進めていかなければなりません。槻木北部地区は各集落間が接続しつつあり、剣水・剣崎地区は通常の維持管理費で整備し、東船岡小学校への連絡道は引き続き都市計画へ、



太陽の村



佐藤輝雄 議員

Q 太陽の村の現状を見、今後を考える時

A 設立目的も含め活用を考えたい



小丸 淳 議員

Q 元気な高齢者を支える新たな施策を

A 提案の(仮称)高齢者支援センターを検討したい

問 年々、高齢者の医療費等の歳出が増加していることに鑑み、これから、これまでの医療、福祉中心の施策から病気にかららない元気な高齢者を増やしていく施策への転換が行財政上、重要に

なっており、医療費等の歳出が増加していることに鑑み、これから、これまでの医療、福祉中心の施策から病気にからならない元気な高齢者を増やしていく施策への転換が行財政上、重要に

なっており、医療費等の歳出が増加していることに鑑み、これから、これまでの医療、福祉中心の施策から病気にからならない元気な高齢者を増やしていく施策への転換が行財政上、重要に

問 近年、第3セクターや自治体関連企業の破綻が続いており、当村形式のものは約半数位に問題があるそうです。が、当村は職員の努力でラーメン売り上げ実績を着実に伸ばしております。この町施設の利用者(宿泊、日帰り、芋煮会等)の減少は平成12年以降歯止めがかかっていない状況で、今後が憂慮されま

す。また、町責任の保守管理が適正に行われているとは言えません。

(1) 組織の体系と今までの経過は。

(2) 施設管理面の指導はどのように行ってきたか。

(3) 営業業績はどうか。

(4) 今後の太陽の村の将来像はどうか。

答 滝口町長

(1) 太陽の村は、昭和52年に6団体で開村し、平成13年から町、JA、出資者で組織された団体で運営、今日に至っています。

(2) 施設の軽微な管理等は管理受託者で、大きな保守管理は町でやります。

約20年経過し老朽化が進み、旧棟設備は使用できず反省点も多々あります。

(3) 好評の贅沢ラーメンは町職員発案で村職員との合作、また、体験メニューも村職員指導で行っております。ただ、食堂だけに頼ることなく施設利用増も考えます。

(4) 都市と農村との交流の場を、新たな視点で活用できないか再検討をしていきたいと思えます。

答 滝口町長

在来の施設のほか次年度以降、町内名所めぐりウォーキングによる健康づくり、生活習慣病予防の食と健康、引きこもり解消を目的とする自立者支援的な通所事業を検討しています。しかし、事業は縦割りになりがちで総合性、一貫性に欠けるきらいがあります。提案の高齢者の学習、スポーツ、サークル活動等を一元的に調整し育成していく機能を持った

場を、新たな視点で活用できないか再検討をしていきたいと思えます。



ゲートをねらって

Q 学校図書館の改革を

A 整備計画策定に取り組む



白内恵美子 議員



熱心に読書(船迫小)

問 学校教育は、子どもが自ら調べ、自ら学ぶ教育へと転換が図られています。テーマを見つけ、目的へ向かって歩き出す子ども達を支援するのが学校図書館です。

しかし、町内の学校図書館は支援できる環境が整っておらず、自治体間格差に対する住民の苛立ち・危機感が広がっています。

来年度を「学校図書館改革の年」と位置付け、思い切った施策の展開を

実施すべきです。

(1) 全ての小・中学校の学校図書館整備計画策定。
(2) 国の「学校図書館図書整備費」の全額予算化。
(3) 司書教諭が業務を全うするのに何が必要か。

(4) 司書配置の検討を。
答 太田教育長 (1) 県

が「子ども読書活動推進計画」を今年度中に策定するので、それを踏まえ策定する方向で取り組みます。

(2) 財政事情に配慮しながら、全額予算化に近づ

けるよう努めます。15年度は、増額しました。

(3) 司書教諭は教員定数内の発令であり、図書館業務のために他の職務を軽減できない現状です。

今後は、職務の軽減も含めた条件整備が必要になります。

(4) 司書の必要性は理解できませんが、財源が厳しいことから当面は配置できません。(1)でお答えした整備計画の中で今後検討していきます。

問 現状を踏まえ、3町合併を含み転換になる来年度の施策をつくりあげる時、町政運営の指針は何か、お尋ねいたします。

(1) 平成15年度掲げた町政目標の達成度の評価はどうか。
(2) どうですか。まちづくり委員会の報告書で、町政に採用できる提案はあったのか。
(3) 町職員は行政の専門的知識の持ち主です。まちづくりに課長職だけでなく、職員を加えることで技術、企画、開発力が発揮され、よりよい柴田が誕生するのではないか。
(4) 町民の必要度、満足度、さらに納得度まで考え、バランスシートを町



加茂紀代子 議員

Q まちづくりをみんなで考えよう

A 協働の町を作る

政方針に取り入れてはどうか。
答 滝口町長 (1) 財政難の中、様々な事業に取り組み、町民と協働の町政運営に心がけ、まちづくりの一步を踏み出しました。

(2) 報告書の内容についての整備手法、費用対効果、中長期的な問題等検討する必要があります。今後整備します。

(3) 多方面でまちづくりに参加しています。職員

の環境づくりに力を入れ、交流のスタッフとなり、まちづくりのプロデューサー等になるよう啓発に努めます。

(4) 行政分析、行政評価を加えた事業コストを明確に分析し、バランスシート導入に向けて検討します。



まちづくり委員会提言書報告会

Q 職員が独創的 改革色を 出せるように



加藤徳廣 議員

A 町長と職員の意見交換を 個別に実施



町職員研修

問 職員の日頃の多忙さ。この多忙さが町民への対応に影響があるのではと心配です。特に財政不足の今、課の責任者としての知恵や考察力を発揮することこそ税金の有効活用と事業の効率化につながると思います。

また、一般町民は課長の答えを期待しています。課長不在の時、町民から理解を得られるような答弁のできる職員の配置等を考慮されるようお願いいたします。

次に、町長のご意見を伺います。

(1) 各課長が課全般を考察可能な余裕の政策を。

(2) 各課の縦・横の連絡の強化を。

(3) 課の上下連絡の充実を。

答 滝口町長 3町合併や町民へのサービス等の対応、厳しい財政難で町民の要望にすぐに対応できないが、現場に向向き機会が増えていきます。

(1) 各課に課長補佐を配置しています。今年度よ

り住民ニーズの多様化に的確に対応し、政策形成力・組織力の強化のため、町長と関係職員の意見交換を個別に実施していきます。

(2) 毎月2回、4役と課長職会議を実施し、縦横を超えた情報の共有化、また、管理職の資質の向上に努めています。

(3) 町民の要望・意見の処理カードを作り、その日の連絡確認に役立てています。



水戸和雄 議員

Q 槻木小学校に フェンスの設置を

A 早い時期に フェンスを設置

問 槻木駅周辺は、少年を守る環境浄化重点地区に指定されています。駅舎の環境は悪化しておりますが、町内賛同者の協力による活動が、浄化に大いに貢献している現状

であります。この地内に通学路と小学校があります。児童の安全を守るためにも何らかの対処が必要ではないでしょうか。

(1) 小学校敷地内の一部には防壁等がありません。

全面的なフェンスが必要ではないでしょうか。

(2) 児童の60分は踏切と跨線橋を通学路としております。踏切、接続町道の拡幅と整備が必要であり、また、跨線橋の落書

きは教育上よくないと思います。

答 滝口町長 槻木地域の生活環境の悪化を防ぐためにも諸団体、行政、警察等の協力により浄化に努めているので落ち着きを取り戻しつつあると考えられるが、今後とも横の連絡を密にしながら、安全な環境整備に努めていきます。

太田教育長 (1) 防犯のため、できるだけ早い時期にフェンスを設置する



一部フェンスのない槻木小学校

よう検討します。

滝口町長 (2) 畑中踏切の実績を踏まえて踏切の整備補修にはJＲ東日本に要請するが、事業費及

び財政などを勘案し検討します。落書きは、消せれる所はボランティアに依頼するが、危険な所は町で消します。



一般質問

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

半澤勝好 議員

問 放置された自家用自動車の処理はいかにするののか。

答 調査して放置者に費用を負担させ、処分する。

問 西船迫地区に警察官派出所を。

答 県警本部の方針は減少、廃止の計画なので西船迫地区への設置は無理と思われる。

我妻弘國 議員

問 トレイサビリティーを一步進めて学校給食の食材として取り入れてはどうか。

答 J Aみやぎ仙南、農政課、教育総務課、給食センターと協議して前向きに進めていきたい。

問 船岡西 2 丁目の雇用促進住宅を取得して町営住宅とし、住宅緩和策としてはどうか。

答 大規模改修、エレベーター設置等を考えると管理費、修理費がかかり過ぎ断念したい。

舟山 彰 議員

問 平成 16 年度予算は不用額が発生しないように厳密に編成すべきである。

答 予算要求においては厳選し、平成 15 年度事業確定により不用額が生じたものは減額します。

問 来春卒業の高校生の就職状況と、町内企業からリストラされた労働者の再就職状況は。

答 大河原管内で内定率 33.8%。町内 2 社からリストラされた人の半分が再就職できました。

太田研光 議員

問 来春卒業の町内高校生の就職内定率は低い。ぜひ、町内企業等に雇用促進の働きかけを。

答 町長として、先に大河原職業安定所長と一緒に企業等にお願いし、雇用促進を図っている。

杉本五郎 議員

問 3 町合併の地区懇談会は予想外に低調だ。これで住民意向や、声なき声が探れるのか。

答 合併に係る情報提供は、他町に比し格段に多いが、それでも盛り上がりには欠けており残念。

佐藤輝雄 議員

問 柴田町は区域外就学で、大河原町に 300 万円の支払い。角田市にも請求すべきと思うが。

答 昔の合併時の就学範囲の線引きで、区域外であっても超過負担の請求はなしと国の指導。

問 21 世紀はボーダーレスの時代、1 小学校区 1 公民館 1 コミュニティの限定思考はそぐわないので、変革を求めろ。

答 15 年度指導で限定が緩やかになった、今後の町づくりではコミュニティをさらに進める。

小丸 淳 議員

問 町予算として最後の編成になるなら町民に身近な生活環境を総点検し可能な限りの対応を。

答 できるだけ財源を確保し、身近な生活環境への不満解消を目指し可能な限り要望に応える。

白内恵美子 議員

問 聴覚障害者へのサービス(手話のできる職員の育成、災害時の連絡システム作り等)を。

答 手話のできる臨時職員の常時活用と、他の災害弱者を含めたシステム作りを検討します。

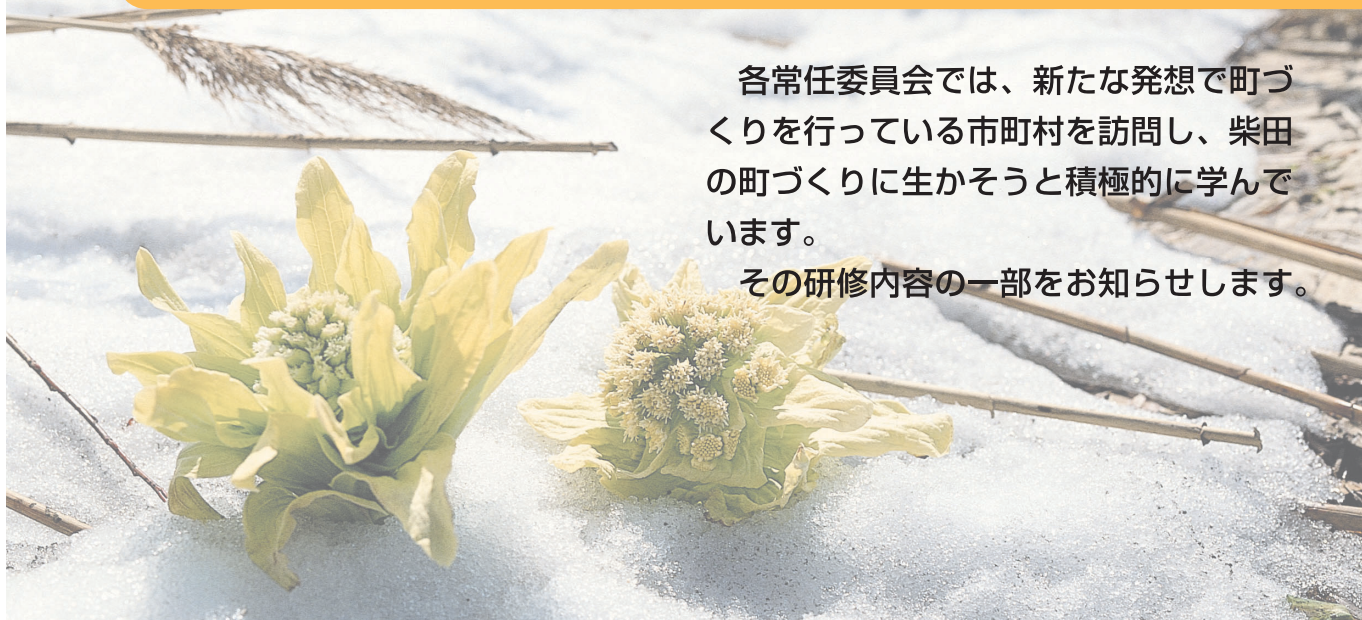
問 ゼロ歳児健診時に全ての赤ちゃんと保護者に絵本を手渡す「ブックスタート」の導入を。

答 16 年度の重点的推進事業(子育て・子育て支援)として取り組むことを検討しています。

先進地に 学んで 町づくりに生かす

各常任委員会では、新たな発想で町づくりを行っている市町村を訪問し、柴田の町づくりに生かそうと積極的に学んでいます。

その研修内容の一部をお知らせします。



総務常任委員会 産業経済常任委員会 高

建設業が 農業へ参入

長野県大鹿村

中山間地農業特区

大鹿村では過疎化・高齢化による農業の担い手不足、遊休農地の増大、公共工事の減少による建設業者の働く場の確保という大きな問題を抱えていました。

そこで、平成15年5月に「建設業等の企業の農業に参入する特区」の認定を受けました。

参入企業は建設業4社、

製造業1社です。ブルー

ベリーやサクランボの觀光農園の開設、そば・大豆・高原野菜の栽培、果樹園の管理や農繁期の作業受託等が検討されています。

まだ始まったばかりですが、耕地は狭く鹿の害もあり、並大抵の努力では難しいと感じました。



大鹿村

熱き思いの市民 市政へ参画

長野県上田市

うえだ百勇士委員会

平成14年9月に105名で発足しました。「来たれ、熱き思いを持った百人の勇士たち」との呼びかけで、委員を公募しています。

目的は、市民の立場や視点で活発な議論・提言を行い、市政運営に役立てること、市政に対する市民参画意識を醸成していくことです。

しらせ隊（情報発信）、みつけ隊（地域資源の発見・保存）等の五つの部会があり、各委員は希望する隊に入り、各テーマに沿って話し合います。1回目は77項目、2回目は22項目の提言を行いました。

文教厚生常任委員会

9月29日～10月1日
岩手県・秋田県

建設常任委員会

10月8日～10日
岐阜県

ゆつくり、のんびり ぼけ〜としようよ

岩手県立児童館

いわて子ども森

県北部の一戸町奥中山に開館した30診の広大な児童館は、森の中や水辺やおもちゃで子どもたちを解放し、感動や発見を通して、健やかな成長を支援する所です。

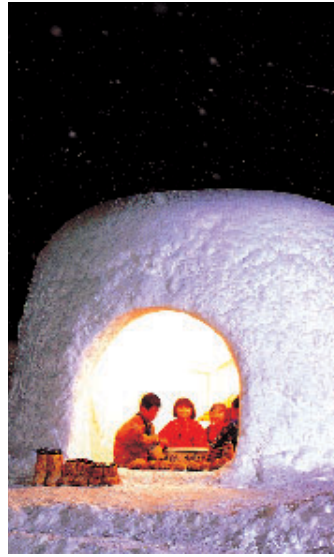
「おとなも子どもも、ゆつくり、のんびり、ぼけ〜としようよ。」を合言葉に一日中遊んでも飽きることはない、ワクワクドキドキの楽しい環境が整備されています。

館長が施設運営の理念をしっかりと持ち、スタッフに徹底す

ることで、利用者本位のサービスを提供していると感じました。

住民参加型の「ほほえみ事業」は、介護の必要な方が快適な生活を送るよう、住民同士が協力し合うものです。

現在は、子どもと親と学校、地域が一体となつて取り組んでいます。素晴らしい環境教育を行っていると感じました。



横手市

人口7千人の

挑戦

秋田県小坂町

高齢者生活支援

在宅の高齢者が要介護状態にならないよう、国の補助を最大限利用し、多種多様なサービスを提供しています。配食や外出支援、買物や部屋の整理等の軽度生活援助は、実にきめ細やかで目が行き届いています。

住民参加型の「ほほえみ事業」は、介護の必要な方が快適な生活を送るよう、住民同士が協力し合うものです。

環境教育実践事業
横手川流域の小・中学校5校が、文部科学省からモデル地域の指定を受け、水質調査や研究発表等の活動を行っており、地域へも公開しています。

横手川は、昭和60年頃非常に汚れ、地域の人々が清流を取り戻す活動に取り組みました。

現在は、子どもと親と学校、地域が一体となつて取り組んでいます。素晴らしい環境教育を行っていると感じました。

汚水処理場はいこいの場

岐阜県瑞穂市

アクアパーク

別府水処理センター

瑞穂市では生活排水（汚水）の処理に、従来の公共下水道整備ではなく、地域ごとの下水処理施設を持つ「コミュニティ・プラント方式」を採用しました。

整備に当たっては、地域住民への徹底した説明会を約100回開催し、常に住民の理解を得ながら進めました。工事の騒音や下水のにおい対策にも、住民への配慮が伺えます。

地下に処理場、地上に公民館や公園広場を整備し、地域のコミュニティの場にもなっています。

見学時には児童教室が開かれ、地域の子どもたちに開放されていました。

きれいな町が私たちの誇り

岐阜県古川町

ふるさと景観条例

街並み環境整備事業

飛騨古川は、匠の秘められた技により、古い伝統と文化が息づく町です。街並みの建物は伝統的な建築様式に統一されており、道路の電線は地下に埋設し、歩道は安全性と快適性を確保しています。地域の文化を育成・保存し、調和のとれた人

間性豊かなまちづくりを行っています。景観条例は、地域住民自らの手により作成され、行政との役割分担も明示しています。昔からの助け合いの「結い」などを大切にし、住民と行政が一体となり街並みを保存していることに、強い感銘を受けました。



古川町

レポート

各常任委員会は法令に基づき年に4回、各課の仕事を調査しています。

文教厚生

- 日時 11月17日、18日
- 調査課 生活環境課



リサイクルの第一歩「分別を」

《生活環境課》
白石市鷹巣に所在する仙南最終処分場の延命化を図るためには、資源化率をさらに上げ、ごみの減量化を図ることが不可欠である。

町民に対し、ごみの出し方に関するルールの徹底を図ることが重要であり、今後あらゆる機会や手段を活用して取り組むこと。

また、ごみ処理施設へのごみの搬入の際、危険物や規格外のものの混入により施設を損傷させた事例もあることから、この被害の実態なども広く町民に周知させる必要があること。

もつとPRを ごみの資源化・減量化

総務

- 日時 11月25日、26日
- 調査課 総務課、企画調整課、情報政策室

次の段階へ

男女共同参画事業

《企画調整課》

町では、男女共同参画事業に関し、各種プランの策定、同推進連絡会議の設置、教育副読本の作成配布、フォーラムの開催等、各種施策を実施しているが、これらを総括し、成果を確認する時期に来ている。今後は啓蒙啓発運動から現実的、具

体的な施策、事業の展開へ取り組むよう検討すること。

《情報政策室》

平成15年11月に竣工した柴田町・村田町連携地域イントラネット基盤施設の運用の仕方や、行政上どんな効果があるのか等について広く町民に分かりやすく周知すること。



これから期待される IT 行政

建設

- 日時 10月6日、7日
- 調査課 建設課、都市計画課、
下水道課、水道事業所



北船岡町営住宅

- 《建設課》**
- (1) 町道四日市場1号線の改良事業は継続し、早期の完成を図りたい。
 - (2) 町道海老穴7号線は現在も地盤沈下が進行中であり、その対策を今後検討すること。
 - (3) 北船岡町営住宅の竣工に伴い、共用設備の美観や維持管理について入居者に十分説明すること。
- 《下水道課》**
- 着工中の7工事は順調に進捗しているが、今後とも作業員や車両、歩行者等の安全確保に十分配慮するよう指導すること。

下水道工事中の 安全確保の指導を

産業経済

- 日時 10月22日、23日
- 調査課 農政課、商工観光課

万全を期せ 農作物の冷害対策

- 《農政課》**
- 夏の日照不足と低温続きで主要農作物、特に稲作の作柄が不良で収量が減少した。次の補助対策を講ずる必要がある。
- (1) 水稲病害虫防除
 - (2) 水稲種子等の確保
- 《商工観光課》**
- (1) 今年から名称が変わった菊の祭典、さらに造園業者や花愛好者による町民参加コーナーを広げ、祭典の輪の拡充を図ること。
 - (2) 船岡、槻木両駅に設置のコミュニティプラザの利用率の向上を図ること。
- また、船岡駅一階は破損、汚損が目立つため改修すること。



四日市場の排水路調査

あなたの一言



平間文子さん
(船岡土手内1丁目)

- 柴田町に住んで良かった点は、
 - ・人がやさしい町です。船岡に嫁ぐ時、母は「近所が近く、人の目の多い所で大丈夫かしら。」と心配しましたが、私はその近所のおじさんやおばさんに助けられて、今日までがんばってこれました。
- 柴田町で好きな場所は、
 - ・鶴山の平和観音です。私が中学2年の頃、遊びに来たことがあり、友人と無邪気に過ごしていたあの頃に帰れる場所です。
- 町にどんなサービスを望みますか。
 - ・高齢の方々の趣味の会や、えずこホールでの発表会等もっと充実できれば、年を取るのも楽しめるのではないのでしょうか。
- 特に町に望むことは、
 - ・今度娘が中学校に通いますが、ささくれだった体育館、設備の古いトイレなど、古びた校舎にはため息ばかりです。是非、健全な子育てのために設備投資をご検討下さい。
- 現在行っている活動は、
 - ・3年ほど、子どもたちの仙南地区での演劇活動のサポートとして、親の会で舞台道具作りをしています。健全に過ごせる環境作りが必要だと考えます。
- 3町合併に関心がありますか。
 - ・あります。早く実現されることを希望します。

未来へ向けて

待ち望まれる議会だよりを目指して

注文の多い写真撮影

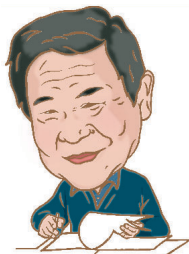
百々編集委員

議会広報で写真を担当している百々です。毎回表紙をどの写真で飾るか、また、どのアングルで撮るかなど、編集委員の方々と話し合いながら考えています。

今回も「太陽の村から太平洋に浮かぶフェリーを撮って欲しい」とか「雪の中の花、雪のかぶった柿の実」などと注文が多く、困ってしまうことがたびたびあります。

特に定例会において執行部に対して行う一般質問での写真では、「何を言わんとしているのか一目で分かるような写真を」などの要望に苦労しています。

このようにしながら、「町民一人ひとりの目にとまる写真撮影を」と努力しています。



写真のタイトルで悩む百々委員

編集こぼれ話

議会の傍聴

お待ちしております!

第1回定例会は

3月5日(金) 10時開催の予定

一般質問は

3月8日(月)・9日(火)の予定

詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

編集後記

暖冬で穏やかに迎えたサル年、早や立春の声を聞く頃となり、春が待ち遠しい昨今です。

今回は、新たに議会で取り組んだ行財政改革に関する記事や、議会のPR、議会だよりの編集風景等、議会の内輪をも知って頂こうと盛り込みました。年に4回、議会から町民の皆様方へ発信する唯一の情報です。是非ご覧になって下さい。
(小丸編集委員)